

第4次山形県子ども読書活動推進計画(変更案) 新旧対照表

現 行	変更案
<p>(14ページ)</p> <p>〈取組み例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭や学校・園等における定期的な読書の時間の設定 絵画、工作、書道、スポーツ、ゲーム等、<u>地域</u>の子どもが親しみやすい分野の<u>講座や展示会、他の社会教育施設、民間の関係団体等と連携し、体験活動と組み合わせた絵本の読み聞かせ会</u>の実施 子どもによる「学校図書館だより」の作成や学校図書館の図書の紹介 教員や保育士、支援員、学校司書 ¹⁴、書店の店員等による選書についての子どもの意見の反映 <p><下段:注釈欄></p> <p><u>14</u> 専ら学校図書館の職務に従事する者。その資格について、制度上の定めはないが、その養成に関して、職務から求められる専門的な知識・技能を整理し、それらの知識・技能を習得できる科目から構成される「学校司書のモデルカリキュラム」が定められている。</p>	<p>(14ページ)</p> <p>〈取組み例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭や学校・園等における定期的な読書の時間の設定 絵画、工作、<u>理科実験</u>、書道、スポーツ、ゲーム等子どもが親しみやすい分野の体験活動と組み合わせた<u>読書活動(絵本の読み聞かせ会、紙芝居、理科読 ¹⁴等)</u>の実施 子どもによる「学校図書館だより」の作成や学校図書館の図書の紹介 教員や保育士、支援員、学校司書 ¹⁵、書店の店員等による選書についての子どもの意見の反映 <p><下段:注釈欄></p> <p><u>14 実験や工作と読書を組み合わせて理科を学ぶとともに、科学の本を読むことをすすめる取組み。県立図書館では、国立大学法人山形大学理学部と特定非営利活動法人ガリレオ工房と連携して「理科読」を県内で普及し、理科好きの子ども、読書を通して主体的に学びを深めることができる子どもを育てることを目的として取り組んでいる。</u></p> <p><u>15</u> 専ら学校図書館の職務に従事する者。その資格について、制度上の定めはないが、その養成に関して、職務から求められる専門的な知識・技能を整理し、それらの知識・技能を習得できる科目から構成される「学校司書のモデルカリキュラム」が定められている。</p> <p><u>※以下、注釈番号を繰り下げ(略)</u></p>